

Monthly Letter



地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(平成27年度～平成31年度)
『地域創生の担い手を育み活気あふれるふくいを創造する5大学連携事業』
福井大学・福井県立大学・福井工業大学・仁愛大学・敦賀市立看護大学

留学生定着
WG

外国人留学生を対象とした合同企業説明会を開催

4月22日に福井県では初となる外国人留学生を対象とした合同企業説明会を、福井県国際交流会館で開催しました。本イベントには、県内各大学を中心に外国人留学生61名と、グローバル化を進めている福井県内企業23社が参加し、活発な情報交換が行われました。

本説明会は、第1部として留学生に参加企業の概要を知ってもらうべく企業によるプレゼンテーションを行った後、第2部として参加企業がブースを構え、留学生との直接面談を行う形式としました。



合同説明会の様子

本合同企業説明会は「県内企業が抱えるグローバル人材の不足という課題解決のため」、また「留学生へ県内グローバル企業を知る機会を提供するため」、という二つの目的から開催したのですが、欲を言えば優秀な留学生の皆さまが福井に定住することで、母国の家族・友人への福井の情報発信元となってくれるのではという期待もあり、企業にも、留学生にも、また地元福井にも様々なメリットをもたらすものと感じています。

本イベントの開催にあたり県内各大学様の多大なご協力を賜りました。誠に有難うございました。本イベントは継続して開催していきたいと考えております。

今後も県内各大学様のご協力を賜れば幸いです。

(株式会社福井銀行 海外支援チーム 山岸様 石川様より寄稿いただきました。)



企業プレゼンテーションの様子

特色人材
育成部会

福井県情報システム工業会と県内大学との懇談会を開催

COC+事業を推進する県内大学のインターンシップ・就職担当者などと、福井県情報システム工業会の役員との懇談会を、3月29日に福井県産業情報センターで開催しました。



福井県情報システム工業会と
県内大学との懇談会の様子

懇談は、(1)インターンシップに対する大学と企業の思い(インターンシップにおける問題点と改善の方法)、(2)大学生の就職活動と企業の求人活動(就職・求人活動における問題点と改善方法)、(3)大学教育の変化(地域志向科目の設定やPBL授業の実施と『ふくい地域創生士』)、(4)技術開発や補助金申請における産学連携をテーマとして進行されました。多くの企業では、合同企業説明会に参加しても面談できる学生が少なく、人材の確保に苦慮していることが分かりました。また、IT業界では入社から定年まで同じ企業で働くことは極めて稀であり、U・Iターン者向けの窓口を大学に設置してほしいとの要望が寄せられました。

大学側からは、学生の気質と就職に対する考え方、大企業の採用、大学の教育内容などが、近年大きく変化しており、これらを考慮した採用活動を展開すれば効果的な採用に繋がるのではとの意見がありました。企業の成長・発展、大学における学生の教育、地域の活性化のためには、COC+事業を利用した産学官の連携が必要で

あるとの認識で一致しました。

(福井工業大学地域連携研究推進センター長 羽木秀樹先生より寄稿いただきました。)

福井大学教職員へ、福井の魅力再発見ツアーを開催

2月16日に教職員向けに初の試みとなる「福井の魅力再発見ツアー」を開催しました。「学生と直に接する教職員は福井の魅力を知っているのだろうか？」という問いから企画した本企画には、福井大学に所属する8名の教職員が参加しました。

当日は、あわら市と坂井市三国町エリアを視察。越のルビーを中心とした専業農家の農場を訪問し、あわら市の企業の見学も行いました。2社の見学を行いました。1社は世界中にシェアを持つ歴史ある部品メーカー。もう1社はEC(エコマース)事業を展開する、若手社長率いるベンチャー企業。福井の中でもローカルエリアとなる場所での企業見学は、福井でも全国、全世界と勝負できるということを学ぶ機会となりました。さらに移動中には、当日ガイドを務めた大連氏(株)LinkMaker 代表取締役:あわら市在住)より地域の歴史や文化についての地元住民ならではの説明があり、中身が濃いものとなりました。

参加された方からは、「知らなかった福井を知れました。またやってほしいですね！」というコメントなど、皆さまからとても高い評価をいただきました。

本企画は、今年度もエリアを変えて実施予定です。学生と接することが多い方々が、福井の魅力を発信できる人材になっていただくことが、県内定着化にも有効であると捉え、今後多くに関係者に参加していただきたいと考えております。

(福井大学 キャリア支援室 大橋祐之室長より寄稿いただきました。)



農家への視察

高知大学COC/COC+全国シンポジウムに参加

3月6日、7日の両日にわたって、高知大学主催によるCOC/COC+全国シンポジウム「地方創生と大学」が高知市にて開催されました。

全国から500名近い参加者があったこと、基調講演者として元地方創生担当大臣である石破茂衆議院議員、株式会社小松製作所 相談役 坂根正弘氏が登壇されたこと、COC+推進コーディネーター会議が50名近くの参加で初めて開催されたことなどから見ても、本事業のリーディング大学としての高知大学の存在感を示したものとなりました。

基調講演の内容は両氏の地方創生に対する想いがひしひしと伝わるとともに、高知大学や他大学の事例紹介も参考になることもあり、今後に生かしていきたいと考えております。

今回も含めて今までの各大学のシンポジウムに参加して感じるのですが、責任大学の存在感(今回の場合は高知大学)が大きく、参加大学の存在感が薄いということです。

ふくいCOC+事業は参加5大学が協働して推進しているところに大きな特長があると意識させられます。そしてそれこそが将来的な「地域の高等教育のあり方の一つ」であると実感できましたので、今後とも各大学の協力体制の維持・発展にご協力よろしくお願いします。(ふくいCOC+コーディネーター 舟木幸雄)



会場の様子

7月1日にCOC/COC+シンポジウムを開催します！

7月1日14時より福井大学文京キャンパス 総合研究棟 I 13階大会議室にてCOC/COC+シンポジウムを開催します。

横浜国立大学大学院国際社会科学研究院 服部泰宏准教授をお招きし、「今、求められる『採用力』」、をテーマにお話していただきます。あわせて、「新たなステージにきた採用現場」をテーマに採用に直接関わっている県内企業の方及び大学の就職指導担当者によるパネルディスカッションも予定しています。ご来場をお待ちしております。

詳細及び申込みはこちらよりご確認ください。

→<http://www.allfukui-cocp.jp/event/entry-99.html>

編集後記

緑の美しい季節になりました。ゴールデンウィークも終わり、大学連携センター(Fスクエア)には多くの学生の姿が見られます。講義が始まってそろそろ1か月が経過し、学生も少しずつ講義等に慣れてきたようです。TwitterなどのSNSも活用しつつ、より多くの学生にFスクエアの存在を知ってもらい、活気溢れるような場所になっていったらいいと思います。事務局はこれからも一丸となって、頑張っていきますので、ご支援よろしくお願いいたします。(渡辺)

